

<大臣講評>

1. エコイスト大賞の応募状況・審査経緯

エコイスト大賞の募集については、昨年末から2月末までの2ヶ月間実施しましたが、その結果、92名の方々から160件の提案が寄せられました。

これらの提案について、環境行政の推進、社会へのアピール度、実現への道筋などの観点から、まず書類審査を行い、審査を通過したものを対象に、これらの提案者と直接議論をする機会として、プレゼンテーション審査を実施いたしました。

こうした審査経緯を経て、このたび、エコイスト大賞の受賞提案を選定し、これを表彰することといたしました。

2. 受賞提案の概要

(1) 環境大臣賞

環境大臣賞は、「全国3万の公立学校に、『太陽光発電 - 燃料電池（水素媒介）』を組み合わせた完全自立エネルギー設備を一挙に設置する」という提案です。

この提案は、学びの場から環境を考えていただく、という点が特色です。今後文部科学省をはじめとした関係省庁との連携を十分図るほか、財源の確保などについて検討する必要がありますが、公立学校をはじめ広く環境教育や環境学習の場も対象として構想することにより、大きな効果・影響を持ちうるものと考えます。

(2) 環境副大臣賞

環境副大臣賞は、「コンビニから始まる温暖化民生部門対策」という提案です。

コンビニ自身の環境保全活動だけでなく、コンビニの利用者である国民に対しても、身近なところから始まる取組として、環境保全活動の広がりが期待できる提案であると考えます。

(3) 環境大臣政務官賞

環境大臣政務官賞は、「エコイスト養成研修の実施（現場に学ぶ、環境省職員の必修コース）」という提案です。

この提案は、職員の現場感覚を磨き、環境省の人材力のパワーアップにつながる提案であると考えます。

(4) 奨励賞

以上の賞のほか、技術的検証をはじめさらなる検討課題を内包するものの、創造性が高いものとして、3つの提案に奨励賞を授与することといたしました。

これらの受賞提案については、関係省庁・関係者等との連携や技術的検証などの必要性に十分配慮しながら、今後、環境省の政策に反映させていきたいと考えております。